

東札幌 団地自治会

- 町内会設立:昭和54年12月
- 町内会加入世帯数:73戸
- 所在地:1条5丁目

団地自治会十年の歩み

東札幌団地自治会会長 金澤 勝俊

私が小学5年の時、白石横町469番地(現在の東札幌1条5丁目)に越してきました。当時この辺は畑の真ん中で、横の千歳線を列車が通る時は、地震並の揺れがありました。街灯も公園も商店も無い、この一角に設立されたのが緑栄町内会でした。その後の緑栄会の活動は町内会の範となり、数々の表彰状・感謝状を賜ってきました。

その緑栄町内会の真ん中に出来たのが現在の団地自治会(昭和54年12月設立)です。当初は同じ町内の仲間として、(以前からの住人が多数入居した)一緒に活動をしていたのですが昭和61年に完全分離となったのです。団地自治会と緑栄会の比率は半々でしたが、この事が一因となり、緑栄町内会の衰退に繋がったのです。

私も一時札幌を離れ、この団地の住人となり、縁が有ったのか会長職を受けてから10年目に成りました。以前の緑栄会の活動を知っている私には、この団地自治会の活動はもの足りなく感じてなりません。居住者同士の集まりが無い。活気の無い現因の一つは、居る為には?とパーベキューパーティーを開催しまし

た。取りあえずは盛況でしたが顔ぶれは総会出席者と変わらず、会の金を使って飲む為にやっている(総会の事)との陰口と同じだと思いました。又、思った以上に下準備に役員の負担が大きい為、一度限りで終わってしまいました。が、会費を有効に使って皆に喜ばれるには?頭を悩ませました。皆に喜ばれるかもと、正月にお餅を配布した事が有ります。当団地は最高でも74世帯にしか成りませんので、全世帯に配ったとしても、たかが知れております。と思っていたのですが、反応は様々でした。おおむね好意的に捉えられていたのですが、アルギーをお持ちのかたも、嫌いだと云う方も。これも一度で終わりに成りました。

当団地では、毎年2回程草刈りを行っておりますが、草刈り後の袋詰めにしても結構な重労働であり(90リットルの袋で150以上)、協力して下さる方も、少なくなっております。町内会活動はボランティアだから、と云ってしまえば其れまでであり、ボランティアだから協力しなくても良い、と成ってしまいます。私の考えは、町内の為に苦労したのだから、それに対して感謝の気持ちをして、協力者に対して多少では有りますが、ゴミ袋をお配り致しました。これは毎回続けております。おかげ様で協力者が増えました。

自治会の活気が無い原因の一つには、高齢化が有りました。当団地が建築された時に入居された30代40代の方々もそれなりの歳に。10年前には、80代の方は数人でした。それで、役員会に於いて80・90歳の誕生日に祝い金を出そうと決めたのです。それと同時に、万一の事が有った時に連絡出来るようにと、家族構成及び緊急連絡先の調査を致しました。これを基に誕生祝い金を支給し始めたのですが、毎年毎年4・5名の方が誕生日を迎えているのです。これには私

住まいの方も居ります。過去には、奥さんが入院中にご主人が亡くなった事も有りました。そう云う事故を防ぐ為も含めて、緊急連絡先の調査をしたのです。或る夏3階の窓が2ヶ所開いていてカーテンが垂れ下がっている。他の住人に聞いたら一週間も開いているとの事。小雨が降っているので呼び鈴を鳴らすのが応答なし。緊急連絡先に連絡するも応答なし。住宅管理公社に連絡し居場所を探して貰って解決しました。昨年度は、二度も緊急連絡先の方と警察に来て貰う事が有りました。二度共に残念な結果と成りましたが、これは調査をしていたおかげで、早めに解決出来た事です。

活気の無い自治会に成った原因の一つに、若者の居ない事です。現在中学生一名、高校生二名、小学生は0です。市営住宅と云う名目上、訳ありの方も、年金生活者もおります。それなりの年齢の方は、皆働いております。私も現在75歳ですが、生活の為に働いております。

役員ではないが、自治会の手助けをしてくれている方は、皆80歳を超えております。こうした中で、自治会の役員に成ってくれる方はほぼ0です。活気がない、なんとかしなければとの思いは、この10年で消えてしまいました。このままで行けば、会長職を引き受けてくれる方は、もう出ないでしょう。